

○土地改良事業の営農推進優良事例について

(調査名：優良経営体事例調査)

調査地域	八戸平原地区 (青森県八戸市、階上町、岩手県軽米町)	調査年度	平成22年度
------	-------------------------------	------	--------

1. 調査目的

国営土地改良事業によって整備された生産基盤を活用して先進的な営農を実現している優良経営体事例を把握し、営農指導関係機関等に対し先導的営農情報として提供する。

2. 調査概要

露地野菜、施設野菜、葉たばこ、果樹等の経営類型を対象に、事業実施前と現在の作物の変化、単収・品質の向上、機械・施設の整備、流通・販売の工夫等について、聞き取り等により把握した。

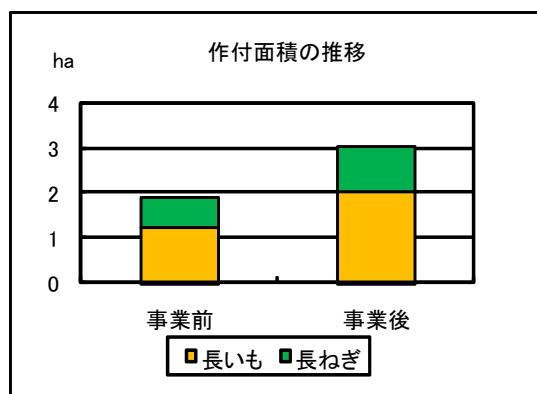
3. 調査結果

(1) 事例1(長いも+長ねぎ)

畑地かんがいを機に整備された共同給水栓を有効活用し、長いも、長ねぎ等の野菜の経営安定を図っている。



長いもの掘取り作業

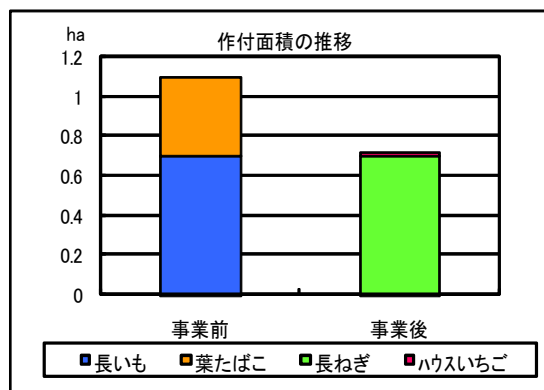


(2) 事例2(長ねぎ+ハウスいちご)

区画整理を機に農地を集約し、長いも+葉たばこから長ねぎ+ハウスいちごに転換し、農業経営の安定を図っている。



収穫前の長ねぎ

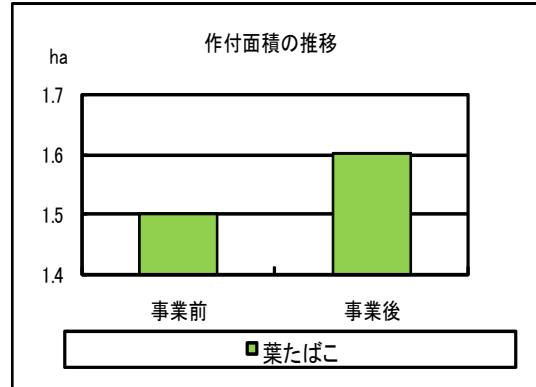


(3) 事例3(葉たばこ)

農地造成した新たな農地において、従来から栽培している葉たばこを栽培し、また幹刈機の導入及び乾燥調整施設を整備して契約栽培により効率的な営農を行っている。



収穫した葉たばこの乾燥

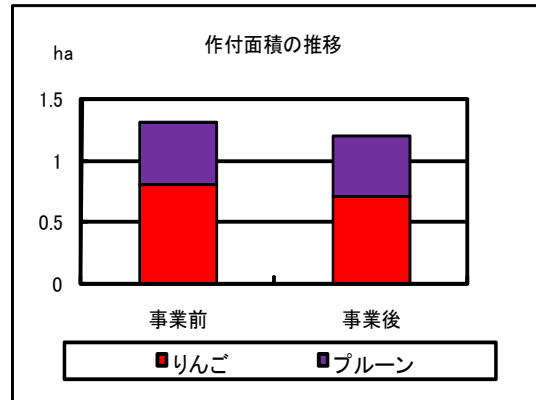


(4) 事例4(りんご+プルーン)

農地造成を機に農地を広げ、作業分散が図られる果樹(りんご、プルーン)を選定し、高品質の果樹生産に努めている。



りんごの栽培状況

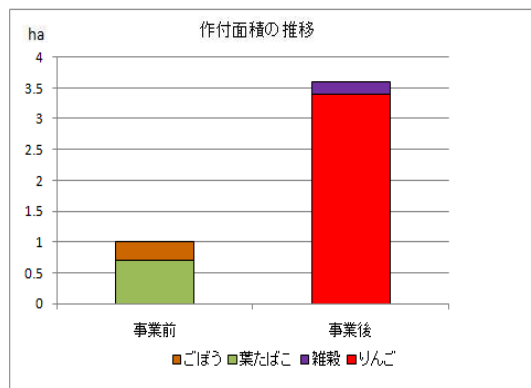


(5) 事例5(りんご+雑穀)

区画整理を機に葉たばこ+ごぼうからりんご+雑穀に転換し、また農地が集約されたことで、りんご+雑穀の栽培管理が容易となり、また作業効率が図られ面積も規模拡大して経営を行っている。



作物転換したりんご

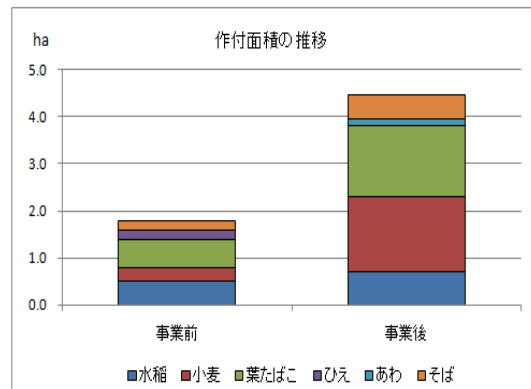


(6) 事例6(小麦+葉たばこ)

区画整理を機に小麦、葉たばこの面積を拡大し、葉たばこは畑地かんがいにより、収量・品質が向上し、また新たに乾燥室及び乾燥機を導入して経営規模の拡大を図っている。



出荷前の葉たばこ

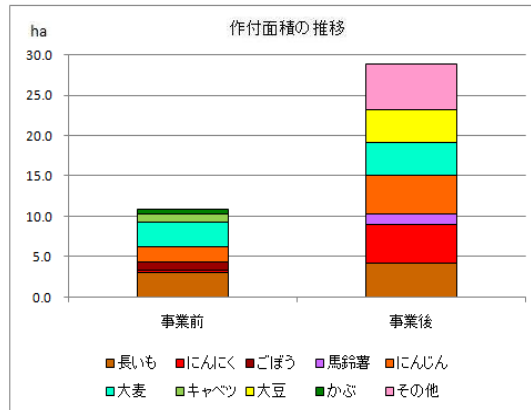


(7) 事例7(長いも+にんにく+にんじん等多品目野菜)

畑地かんがい施設の設置と借地により、にんにく、にんじん等の多品目型野菜の規模拡大を図り収量・品質の向上に努め、また新たな販路としてレストラン等の直接販売に取り組んでいる。



にんにくの栽培状況

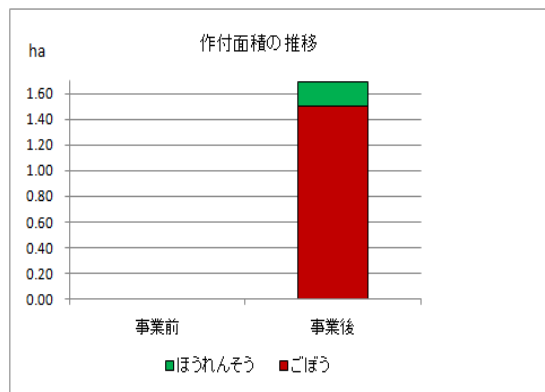


(8) 事例8(ほうれんそう+ごぼう)

畑地かんがい施設の設置により、ごぼう、施設園芸(ほうれんそう)に取り組み、ほうれんそうはハウスを増設して計画的播種を行い、安定した収量確保に努めている。



ほうれんそうの栽培



4. まとめ

国営総合農地開発事業「八戸平原地区」で優良経営体事例調査を実施し、露地野菜、施設野菜、葉たばこ、果樹等の優良な個別経営体8事例を把握した。その成果は、東北農政局営農情報誌等での紹介、国営土地改良事業事後評価の基礎資料としている。

担当部署	農村計画部資源課営農指導第2係	連絡先	022-263-1111 (内線4133)
------	-----------------	-----	-----------------------